

## 2023年3月期 決算説明会

株式会社リミックスポイント

©2023 Remixpoint, inc. All rights reserved.

本日は、株式会社リミックスポイントの2023年3月期決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。取締役の小田玄紀でございます。

それでは、早速ですが、資料を使いながら、当社の2023年3月期決算について説明させていただきます。

## 金融関連事業及び自動車事業の廃止

### 金融関連事業及び自動車事業を廃止 事業ポートフォリオの再構築を推進

- 金融関連事業の中核であったビットポイントジャパンの譲渡
- 当社グループの事業環境を鑑み、経営資源を集中し、事業ポートフォリオの再構築を推進



※金融関連事業の廃止につきましては、2023年5月12日付「当社一部事業の廃止に関するお知らせ」をご参照ください。

当社は、前期末までに金融関連事業の中核であったビットポイントジャパンの全株式をSBIグループへ譲渡し、併せて自動車事業を廃止するなど、事業ポートフォリオの再構築を実施しました。

現在の当社の主な事業の柱は、電力小売事業を中心としたエネルギー事業と、蓄電池事業や省エネコンサルティング事業を中心としたレジリエンス事業となります。

2023年3月期 連結累計期間実績				
(百万円)				
		2022年3月期	2023年3月期 業績予想	2023年3月期 実績
売上高	合計	28,753	31,966	32,789
	エネルギー事業	12,672	25,242	25,269
	金融関連事業	10,767	966	928
	その他	5,313	5,758	6,590
経常損益	合計	8,173	▲1,578	▲1,722
	エネルギー事業	1,670	▲562	▲466
	金融関連事業	7,552	221	15
	その他	▲208	24	▲193
	セグメント調整額	▲842	▲1,260	▲1,078
税引前当期純利益		8,172	7,217	7,258
親会社株主に帰属する四半期純利益		6,913	3,301	3,267

**主なトピックス**

- 第2四半期よりBPJが関連会社となり、売上高は連結から除外
- 今期は電力先物取引における時価評価の変動による影響はあったが、4Qは市場価格が安定し、想定を上回る利益を確保
- 第2四半期よりBPJが関連会社となり、最終利益の49%のみを反映。第2四半期以降のBPJに係る持分法投資損失は104百万円
- 主にレジリエンス事業における商品評価損及びその事業における貸倒引当金の計上による
- BPJ株式の売却に伴う費用の発生による
- BPJ株式を譲渡したことにより、売却益89億円（特別利益）を計上

※「その他」には、自動車事業、レジリエンス事業、その他の事業が含まれております。

2023年3月期の業績につきましては、売上高327億円、経常損失17億円、税引前当期純利益72.5億円となりました。

特に特徴的なところとしては、エネルギー事業において業績予想よりも利益が上振れたこと、また、補足資料中の「その他」については、主にレジリエンス事業において商品評価損の計上を行ったことにより、1.9億円の損失となった点になります。

## 四半期毎損益計算書推移

電力需要家の契約が適切に新プランに移行していること、また、適切な電力調達が出来ていることにより第4四半期にてエネルギー事業の経常損益は6億円となった。引き続き、安定収益の計上が期待される

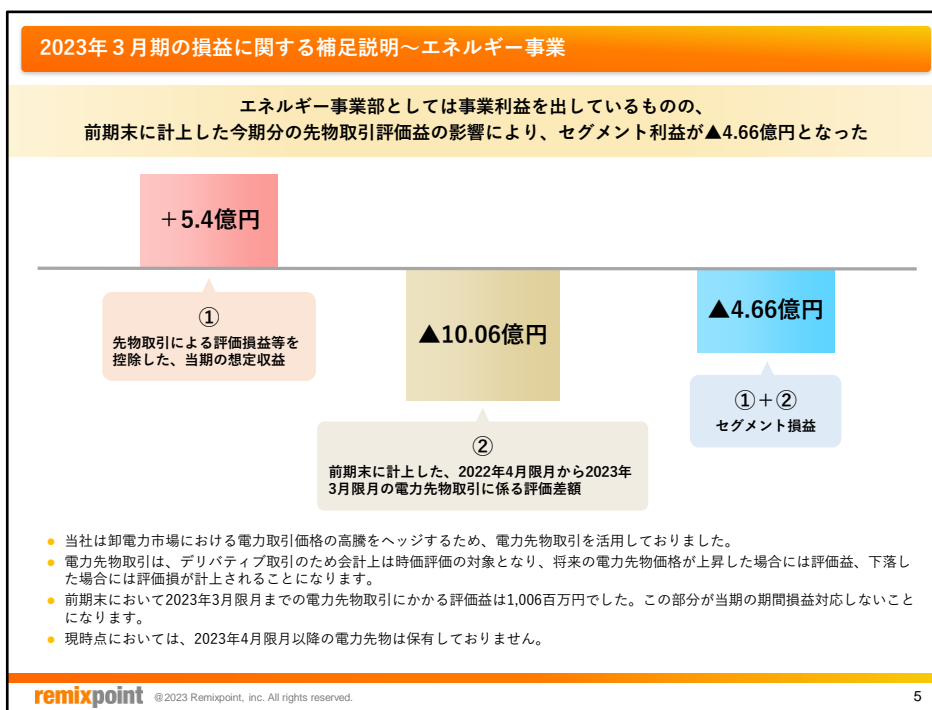
(百万円)

		2022年3月期				2023年3月期			
		4~6月 (1Q)	7~9月 (2Q)	10~12月 (3Q)	1~3月 (4Q)	4~6月 (1Q)	7~9月 (2Q)	10~12月 (3Q)	1~3月 (4Q)
売上高	合計	4,300	6,193	9,909	8,350	6,627	9,041	8,075	9,044
	エネルギー事業	2,430	3,691	3,234	3,316	4,154	7,445	6,339	7,330
	金融関連事業	696	1,309	5,351	3,409	842	56	8	21
	その他	1,173	1,191	1,323	1,624	1,631	1,539	1,727	1,692
経常 損益	合計	386	802	3,992	2,991	258	▲614	▲1,085	▲280
	エネルギー事業	451	268	▲211	1,162	95	▲508	▲716	662
	金融関連事業	198	810	4,371	2,171	311	85	▲209	▲171
	その他	▲55	▲76	12	▲88	▲4	42	25	▲256
	セグメント調整額	▲208	▲199	▲179	▲255	▲144	▲233	▲184	▲515
親会社株主に帰属する 四半期純利益		342	630	3,171	2,769	80	3,866	▲340	▲339

※「その他」には、自動車事業、レジリエンス事業、その他の事業が含まれております。

※2023年3月期2QよりBPJが連結対象から除外されたことにより、2023年3月期1Qの金融関連事業の経常損益を組み替えて表示しております。

こちらは四半期毎の損益推移となります。エネルギー事業においては既存顧客についても適切に新プランに移行したこと等により、第4四半期の3か月で6.6億円のセグメント利益を確保することが出来ました。今後、エネルギー事業については安定的な収益計上が期待されます。



エネルギー事業については、毎四半期に説明をさせて頂いておりますが、2022年3月期に2022年4月限月から2023年3月限月までの電力先物取引にかかる評価益10.06億円を計上しており、この部分が当期の期間損益と対応しないため、当期のエネルギー事業のセグメント損益は4.66億円の赤字となりました。つまり、電力先物取引の時価評価変動分の除く当期のエネルギー事業の実態としては5.4億円の事業部利益が確保されていたこととなります。

なお、電力先物については、これまで電力価格高騰リスクをヘッジするために活用をしてきましたが、現在においては顧客の電気料金プランを新契約に移行したことなどもあり、この4月以降については電力先物を保有していません。そのため、会計上、実態と収益認識時期が大きくずれるということは今後は生じないと考えております。

## 連結貸借対照表推移

(百万円)

	2022年3月31日現在	2023年3月31日現在	
資産の部	現金及び預金	4,896	11,173
	売掛金及び契約資産	1,971	4,061
	商品	251	221
	利用者暗号資産	46,097	—
	自己保有暗号資産	6,140	120
	預託金	6,709	—
	差入保証金	2,493	—
	その他	2,587	2,042
	流動資産計	71,147	17,620
	固定資産計	1,821	1,651
	資産合計	72,968	19,271
負債の部	買掛金	638	520
	預り金	6,569	348
	預り暗号資産	46,097	—
	未払法人税等	1,656	774
	借入暗号資産	2,028	—
	その他	1,864	801
	流動負債計	58,853	2,445
	固定負債計	—	0
負債合計	58,853	2,445	
純資産の部	14,114	16,826	
負債・純資産合計	72,968	19,271	

※「自己保有暗号資産」には差入保証暗号資産が含まれております。

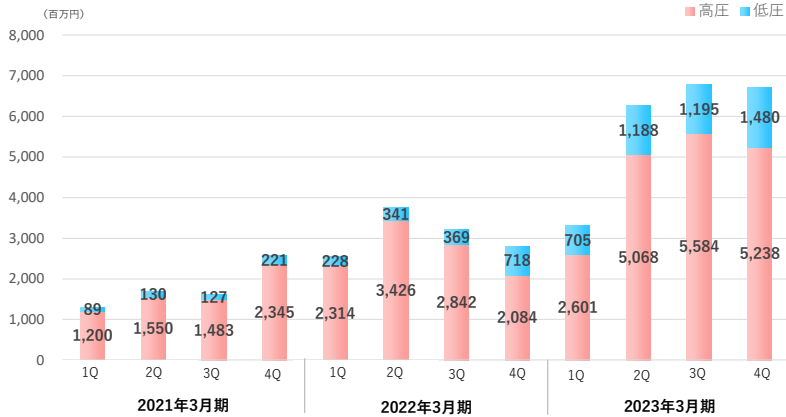
こちらは貸借対照表になりますが、流動性が高い資産が中心となっており、純資産は168億円となっています。現預金についても前期末の48億円から111億円と大幅に増加いたしました。

## エネルギー事業（電力小売事業）



需要家の増加及び電力価格の上昇により、対前年同期比で電力小売事業の売上高は大幅に増加

### 高圧需要家・低圧需要家別の売上推移



※エネルギー事業のセグメント売上高には、別途、電力市場において余剰電力を販売した売上が含まれます。

電力の高圧・低圧別の売上高推移となります。低圧の新規申込受付を止めていたこともあり、引き続き高圧の売上が中心となっていますが、前年同期比で大幅に増加いたしました。

**エネルギー事業（電力小売事業\_高圧）**

JEPXスタンダードプラン	高圧スタンダードプラン	高圧フラットプラン
<p style="text-align: center;"><b>市場連動型</b> <small>Daily</small></p> <p style="text-align: center;">JEPXの市場取引に連動</p>	<p style="text-align: center;"><b>独自燃料費調整型</b> <small>Monthly</small></p> <p style="text-align: center;">燃料費調整額に連動</p>	<p style="text-align: center;"><b>固定単価型</b> <small>Years</small></p> <p style="text-align: center;">市場に連動せず固定的</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 需要家の電気料金が市場価格（JEPXのエリアプライス）に連動するプラン</li> <li>● 需要家にとっては、市場価格が下がれば電気料金が割安に、市場価格高騰時には割高になる</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>市場価格に左右されず、一定収益を確保することが可能</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域電力とは異なる当社独自の燃料費調整単価を採用する電力プラン</li> <li>● JEPX（変動単価電源）と相対電源（固定単価電源）をミックスして需要家に供給するため、年間を通じてバランスよい電力価格が期待できる</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>調達した電源に応じて燃料調整費を独自に調整することにより、一定の収益確保とリスクヘッジが可能</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 需要家の電気料金を、市場価格の変動に影響を受けず一定にできるプラン</li> <li>● 需要家にとっては、市場価格が安ければ市場連動型プランより割高だが、市場価格高騰時は割安になり、電気料金の変動リスクを避けたい需要家に最適</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>当社が確保する相対電源に応じて、単価設定や受入需要家数のコントロールが可能</b></li> </ul> <p><small>※高圧フラットプラン（固定単価型）は、当面の間は東京、中部、中国、東北エリアの需要家に提供</small></p>

**remixpoint** ©2023 Remixpoint, inc. All rights reserved. 8

リミックスでんきは自社で電力需給管理をしていることもあり、柔軟に電力プランを提供することが可能です。

これまでは独自燃料調整費を導入した「高圧スタンダードプラン」が中心でしたが、昨年新しく「JEPXスタンダードプラン」をリリースしました。現状、当社の高圧需要家の半分以上がこの「JEPXスタンダードプラン」を利用されていますが、「JEPXスタンダードプラン」は、需要家の電気料金が市場価格に連動するため、当社はどのような市場環境でも一定の収益を確保することが可能となります。

なお、完全に市場価格に左右されることを好まない需要家やこれまでと同契約での更新を希望する既存需要家のために、引き続き「高圧スタンダードプラン」の提供も一部行っています。

また、需要家にとっては多少割高になりますが、電気料金単価を年単位で固定したいという需要家のために「高圧フラットプラン」という料金プランも用意しました。これは、需要家の求めに応じて、予め当社が固定価格で電力を調達できた場合に限定して提供する、固定単価型の電力プランです。このプランであれば、当社は販売単価や需要家の受け入れをコントロールすることができ、需要家は電気料金単価を固定化することができます。

このように需要家の要望に対して、リスクとのバランスを図りながら、柔軟にきめ細やかなサービスプランを提供できることがリミックスでんきが支持されている理由になります。





低圧需要家向けの卸電力市場価格連動型プラン「Styleプラス」「Styleプラスeco」  
をリリースし、低圧の新規申込受付を再開



#### Styleプラス

基本料金 0 円（動力契約の場合には基本料金発生）で30分ごとに変動する日本卸電力取引所（JEPX）の電力取引価格（スポット価格）に連動した料金設定を行う。

#### Styleプラスeco

需要家が使用する電力へ環境価値を付帯させる非化石証書を活用し実質的に再生可能エネルギー電  
気として供給

低圧については、これまでは新規申込受付を止めていましたが、  
これからは電気料金が電力市場価格に連動するプランを中心に、  
再び新規申込を受け付けていきます。また、環境価値に敏感な需  
要家のニーズにも応えるプランも用意いたしました。

レジリエンス事業（家庭用蓄電池）

レジリエンス事業とエネルギー事業のシナジーを活かしたスキームを提案

**remixbattery**

高性能・低価格なハイブリッド蓄電システムです。発電した電気を効率的に自家消費し、非常時にも安心な蓄電システムです。

発電事業に特化する  
**Next Energy**

高出力で信頼性の高いセルを使用した太陽電池モジュールを開発。高効率な発電システムを安心の長期保証と共にお届けします。

**リミックスでんき**

実績豊富で安定基礎を持つリミックスでんきが、All In Oneパッケージに最適でお得なプランで電気をお届けします。

The diagram illustrates a home energy system. On the left, a utility pole labeled '電力供給' (Power Supply) is connected to a '蓄電システム' (Battery System). On the roof, '発電システム' (Power Generation System) solar panels are shown. A '分電盤' (Distribution Panel) is located inside the house, receiving power from both the battery and solar systems. It then distributes power to household appliances like a TV and refrigerator. A family of four is depicted inside the house, representing the end users of the energy.

remixpoint ©2023 Remixpoint, inc. All rights reserved. 10

また、低圧需要家は家庭用蓄電池との相性も非常によいと思っています。太陽光と蓄電池をセットにしたソリューションも提供をしていきます。

これらは再エネという観点だけでなく、災害発生時におけるレジリエンス対策としても価値を発揮すると考えています。

レジリエンス事業（J-クレジット制度）

「家庭における太陽光発電設備等の導入によるCO<sub>2</sub>削減プロジェクト」を推進

J-クレジット制度とは

省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。本制度により創出されたクレジットは、経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成やカーボン・オフセットなど様々な用途に活用できます。

The diagram illustrates the interaction between three main entities:

- J-クレジット制度事務局 (J-Credit System Office):** Represented by a building icon. It handles the certification and issuance of credits.
- remixpoint リミックスポイント:** The central platform that manages the credits and points.
- 会員：一般家庭 (Members: General Families):** Represented by house icons. They participate in projects and receive points.

The flow of information and value is as follows:

- クレジット認証・発行申請 (Credit Certification & Issuance Application):** From the J-Credit System Office to Remixpoint.
- クレジット認証・発行 (Credit Certification & Issuance):** From Remixpoint to the J-Credit System Office.
- プロジェクト入会 (Project Enrollment):** From the General Families to Remixpoint.
- 太陽光・蓄電池販売 (Solar Panel/Battery Sales):** From Remixpoint to the General Families.
- 排出権譲渡 (Emission Right Transfer):** From the General Families to Remixpoint.
- ポイント等付与 (Point Award):** From Remixpoint to the General Families.

remixpoint ©2023 Remixpoint, inc. All rights reserved. 11

家庭用太陽光・蓄電池についてはJ-クレジット制度を活用した家庭における太陽光発電設備等の導入によるCO<sub>2</sub>削減プロジェクトを推進していきます。

家庭用の再エネは発電単位も小さく、それぞれの家庭がJ-クレジットを申請していくことは非常に手間なのですが、当社がクレジット認証を申請し、顧客の排出権に応じてポイント等を付与していくことを考えています。これは、省エネコンサルティングや各種補助金申請の実績があるリミックスポイントだからこそ出来るサービスだと考えています。

レジリエンス事業（産業用蓄電池）

工場や商業施設等の法人向けに、導入コストを抑え、且つ余剰電力を無駄なく蓄電できる  
小型産業用ハイブリッド蓄電池の販売を開始



The image shows two white rectangular SCFAR industrial hybrid battery units on the left. On the right, there is a close-up of a glass of water with ice cubes, symbolizing freshness and reliability. The SCFAR logo is visible in the top left of the image area.

remixpoint ©2023 Remixpoint, inc. All rights reserved. 12

これまで当社の蓄電池事業は家庭用蓄電池が主でしたが、今後は、法人向けの小型産業用ハイブリッド蓄電池の販売も行っています。

## レジリエンス事業（省エネコンサルティング）



これまでの知識をノウハウを生かした補助金申請支援を通して企業の再エネ、省エネをサポート

### ■ 補助金支援実績

累計採択件数：**605**件（平成25年度補正予算～現在）

※令和4年度実績 採択件数：**63**件（2023年3月31日時点における実績）

### ■ 主な支援実績補助金

- ・経産省 省エネルギー投資促進支援事業
- ・環境省 民間建築物等における省CO<sub>2</sub>改修支援事業
- ・環境省 工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業
- ・環境省 平時の脱炭素化と災害時の安心を実現するフェーズフリーの省CO<sub>2</sub>独立型施設支援事業
- ・環境省 ストレージバリエティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業
- ・環境省 建物における太陽光発電の新たな設置手法活用事業（ソーラーカーポート）
- ・環境省 地域における太陽光発電の新たな設置場所活用事業（営農・ため池・廃棄物処分場）
- ・環境省 自立型ゼロエネルギー倉庫モデル促進事業
- ・環境省 データセンターのゼロエミッション化・レジリエンス強化促進事業
- ・環境省 食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業
- ・国交省 既存建築物省エネ化推進事業
- ・東京都 省エネ型換気・空調設備導入支援事業 等

### ■ 登録等

- ・エネマネ事業者（令和4年度補正予算登録）
- ・ZEBプランナー（ZEB30P-00019-C）
- ・SHIFT事業 支援機関



レジリエンス事業部の各種補助金申請ノウハウも確実に進化を遂げています。引き続き、省エネを中心とした各種補助金申請においては一定の知見を保ちながら周辺事業へと繋げていきます。

## 2023年3月期 決算説明会

株式会社リミックスポイント

©2023 Remixpoint, inc. All rights reserved.

以上で説明を終わらせていただきます。ご視聴ありがとうございました。

※質疑応答については、特に質問はなく、説明会は終了した。